

座安小学校  
がじゅまる（デジタル） 通知表  
の取組について

# 文科省の資料から見えてきたこと

1. 子どもを主語にした教育
2. 自らの力で振り返る
3. 教育DXの推進  
(振り返りの時の教育データ活用)
4. 教師と保護者で目標共有

# 利活用ケース1： 児童生徒が自らの学びをデータで振り返り、次の学びにつなげる

## 目的

- ★ 児童・生徒
  - 自分で計画を立てて主体的に学ぶ力を身につけることができるようにする。
  - 自分で苦手分野を把握しその克服のために学び直しをしたり、復習を効果的に行うことができるようにする。
  - 自分で家庭学習のあり方を見直し、改善することができるようにする。
  - 端末を活用した授業において、自分自身で学びを深めることができるようにする。
- ★ 保護者
  - 保護者が子供の強みや弱みを把握することができるようにする。
  - 保護者の子供の学びに対する理解を深め適切な声かけができるようにする。

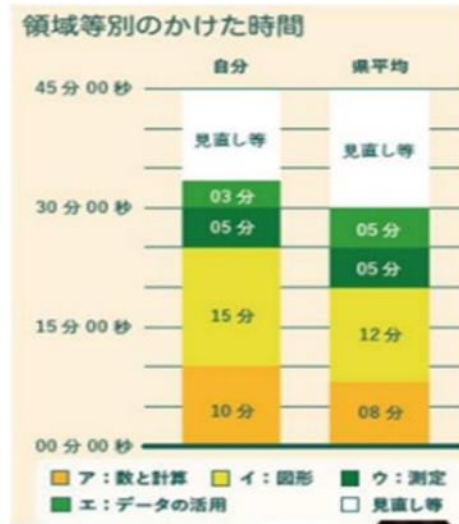
## 概要

- 自身で設定した学習計画に対して計画通りに学習を進めることが出来たかを振り返られるよう、デジタル教材の利用ログや、デジタル教材の学習履歴から確認できるようにする。
- 自動採点システムを使ってテスト結果を即時に確認したり、問題の正誤のみならず回答までにかかった時間のデータも参照できるようにする。
- 家庭学習時間を任意アンケートで記録させ、グラフ化するなど特徴をわかりやすくして結果を子供たちに返却する。
- 自身や他の児童生徒の学習ツール内への書き込みをリアルタイムで確認し、参照できるようにする。
- 児童生徒が見るデータと同じ学習記録等を保護者も見られるようにする。
- デジタル教材の利用状況や学習状況等、子供の取組を保護者も見られるようにする。

# 文科省資料①

## 考えられるデータ

項目	備考	頻度
地方独自の学力調査		年1回
テスト結果	定期テスト、単元テスト	都度
学習計画表	学習予定時間、単元、ドリル活用予定	都度
デジタル教材内での学習履歴	閲覧ログ、閲覧時間、書込み、問題への回答	都度
デジタル教材の利用ログ	児童生徒別のアプリ別利用回数、アプリ別アクセス日時、単元、利用時間	都度
児童生徒アンケート結果	家庭学習状況について任意アンケート	都度



※ 学力調査やテストの結果としては、正答数のみでなく、回答時間、正答率、解きなおし回数などのデータも考えられる。

(参考：第8回大阪市教育委員会、第16回福岡県春日市教育委員会、第19回埼玉県教育委員会などの発表をもとに作成)

## 1. 教育データの定義

- ✓ 初等中等教育段階の学校教育における児童生徒（学習者）のデータが基本。
- ✓ ①児童生徒（学習面：スタディ・ログ、生活・健康面：ライフ・ログ）、②教師の指導・支援等（アシスト・ログ）③学校・学校設置者（運営・行政データ）。
- ✓ 定量的データ（テストの点数等）だけではなく、定性的データ（成果物、主体的に学習に取り組む態度、教師の見取り等）も対象。

## 2. 教育データの利活用の原則

- (1) 教育・学習は、技術に優先すること
- (2) 最新・汎用的な技術を活用すること
- (3) 簡便かつ効果的な仕組みを目指すこと
- (4) 安全・安心を確保すること
- (5) スモールスタート・逐次改善していくこと

## 3. 教育データの利活用の目的（将来像の具体的イメージ）

### ①子供の視点

学びを振り返る

- 自身の学びや成長の記録を一目で振り返り、強みや弱点を簡単に把握することが可能

学びを広げる・補う

- 興味のある分野を発展的に学習
- 苦手分野克服や復習のためのレコメンド
- 不登校・病気で学習できなかった分野を補う

学びを伝える

- 学校と家庭での学びなどをつなぐことができる
- 転校・進学しても何を学んだかが残っている
- 資格や履歴の証明等をデジタルで提示できる

### ③保護者の視点

- 子供の学校での様子を確認
- 学校との連絡も容易に

子供の学習状況を踏まえて、家庭学習の支援ができる！

### ②教師の視点

きめ細かい指導・支援

- 子供一人ひとりに関する様々なデータを一目で把握
- 「ノーマーク」だった児童生徒を早期発見、支援
- 学校全体で子供の様子を把握し、支援
- 転校・進学前の子供の様子も分かる

教師自身の成長

- これまでの経験・知見と照合
- グッドプラクティスを共有し、指導改善に活用

### ④学校設置者の視点

- 学校ごとのデータをリアルタイムで参照
- 学校への調査が負担なく簡単に
- 類似自治体と比較し、施策改善が可能に

なるほど。不登校が減った市の取組は、こういう点が共通しているのか。

前の学年でここが苦手だったのね。それなら、ここは丁寧に指導しよう。

最近、食欲がなさそう。何か心配事はないか、聞いてみよう。

今度、この生徒のここを褒めよう！

私はこう思うけど、データによるとどうなのか。ヒントになる部分がないか確認しよう。

文科省資料②

# 文科省資料をふまえた評価活動の考え方

1. **すべての子ども達が、自己評価を通して**自己の学びを振り返ることにより、成長の喜びを味わい、新たな自己概念を生み出していく。
2. **情報活用能力（保存、分析、発信・伝達）**を伸ばす。
3. 子ども達のよさや可能性、進歩の状況を認め励まし褒めていく**個人内評価**を重視する。

- 自己評価によって何ができるようになったのか、何がわかるようになったのか子供の自己理解を深め、すべての子ども達が自分の成長を実感できる実践づくり
- 個人内評価によって子供一人一人のよさや可能性を引き出す実践づくり

# 本校における通知表の見直しの視点

先生がつくる通知表  
(成績伝達型通知表) から

子供がつくる通知表  
(情報活用型通知表) への

パラダイムシフト

～次への一歩（目標）を届けよう～

# がじゅまる（デジタル）通知表を 活用した主な取組

1. 毎月の自己評価活動
2. 私の成長発表会（学級・各家庭）
3. 長期休業中の自学自習
4. 三者ミーティング（5月・7月）

※**個人内評価**：子ども達のよさや可能性、  
進歩の状況を認め励まし褒めていく。

# 「がじゅまる通知表」について

- 1 学習コーナー（スタディログ） ◇テストの結果と分析
- 2 学校生活コーナー（ライフログ） ◇学校生活 重点項目
- 3 作品コーナー（成果物） ◇テスト 図工絵画等

「がじゅまる通知表」の名前に込められた思い

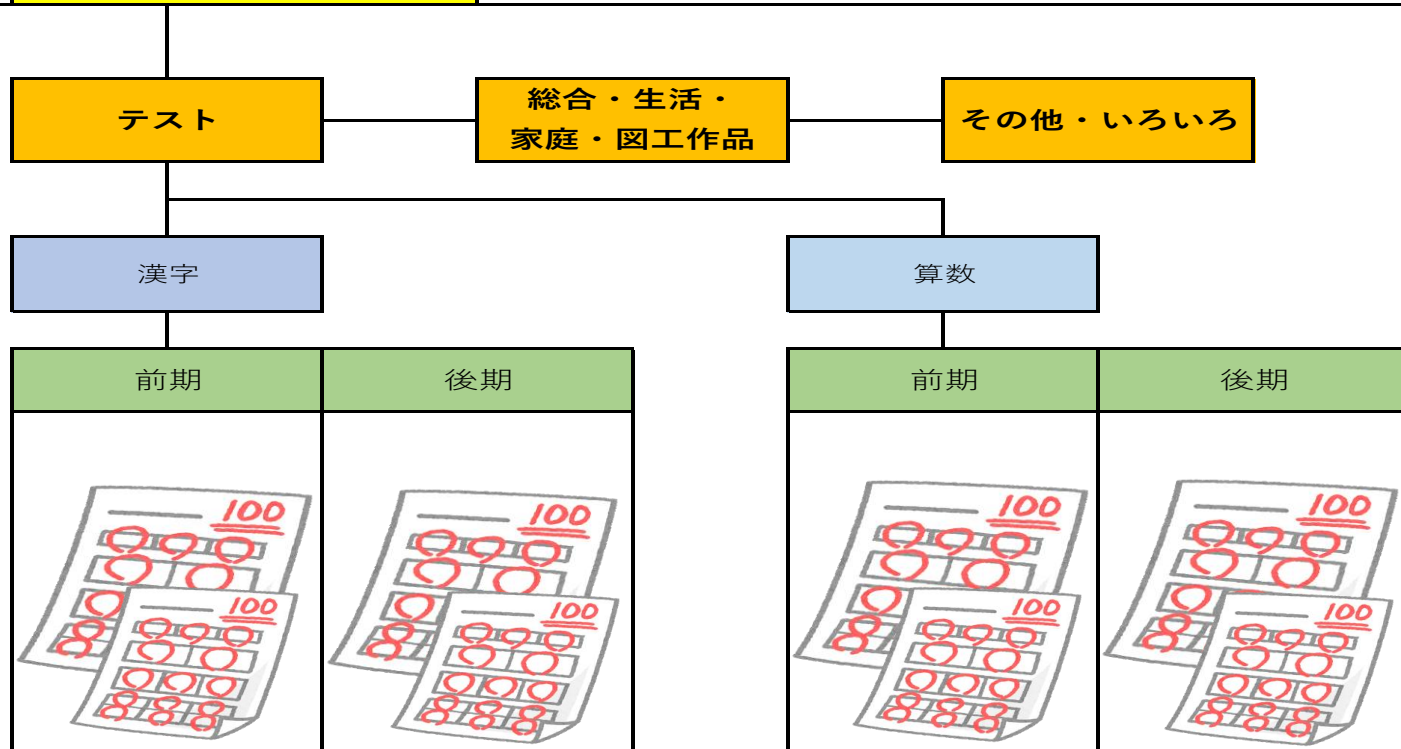
※～6年生（令和7年度卒業）からの手紙の内容～

「2学期のデジタル通知表の名前が決まりました。名前は、『がじゅまる通知表』です。由来は、座安小学校のシンボルとして、今年、がじゅまるを植樹したことやがじゅまるの木は、強い生命力があり、キジムナーが宿るとされる『幸せの木』として有名だからです。私たちががじゅまるの木のように、力強く、根を張って、枝を大きく、太くし、葉を広げていくように成長していきたいという思いを込めて『がじゅまる通知表』と名づけました」。

# 子どもがつくるデジタル通知表：座安っ子「がじゅまる通知表」

～自己目標の達成に向けて、自分で考え、計画し、行動できる児童の育成～

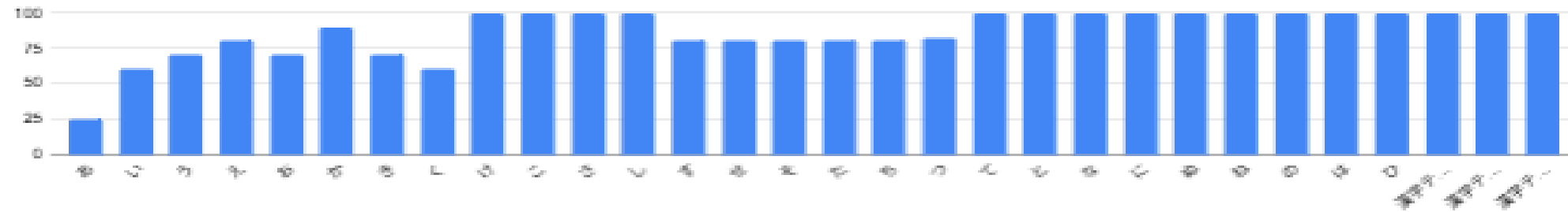
1	学習コーナー	テスト結果の入力。結果を自己分析して次の学習につなげる。
2	学校生活コーナー	生活態度を自己採点し、結果を入力。結果を自己分析して学校生活をよりよいものにする。
3	作品コーナー	テストや成果物を保存し、学びのふり返りに活用する。



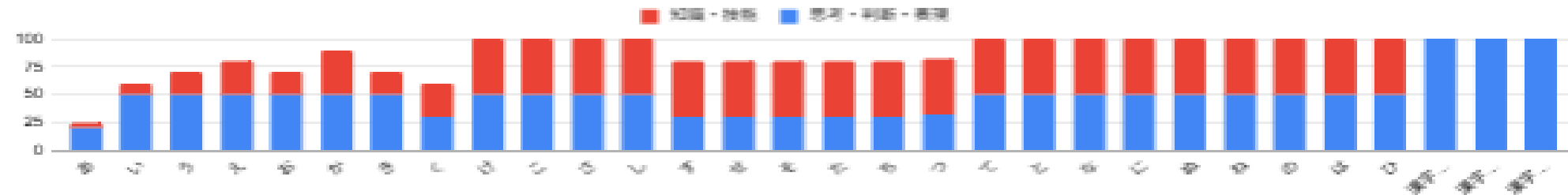
# 学びの成長の記録

黄色い色の部分のみ入力してください。

年 組 氏名：



テストの合計点数 (観測別)



100点満点	50点満点		自己評価 A・B・C表
テスト平均点	知・技 平均点	判・表 平均点	
<b>86.9</b>	<b>49.4</b>	<b>41.7</b>	A 24 B 6 C 1

理科テスト入力

テスト	テストの日	単元名 (テスト名)	・技の点	判・表の	評価 (A・B)	合計点数	目標点数	分析 (何ができて何ができていないのか、次にやることは何か)
1		あ	20	5	A	25	100	
2		い	50	10	A	60	100	
3		う	50	20	A	70	100	
4		え	50	30	A	80	100	

# 生活面の振り返り：座安小ルーブリック

4月

項目	がんばること	じぶんで えらんでね	てんすう	えらぶ りゆう
1	①みて はなしを きく	よくできた (20点)		3つ ぜんぶ まもることができた
	②じかん を まもる	できた (10点)		3つのうち 1つか2つ まもることができた
	③まわりを きれいにする	あまりできなかった (5点)		3つとも まもることが あまりできなかった。
2	あいさつ	よくできた (20点)	10	どこでも じぶんから すすんで あいさつすることができた あいさつしてくれたひとに、あいさつをかえしたり、おじぎすることができた。
		できた (10点)		あいさつをかえしたり、おじぎをしたりすることがあまりできなかった。
		あまりできなかった (5点)		
3	じしゅがくしゅうのーと	よくできた (20点)	10	じぶんのちからで 1しゅうかんに3日よりおおくがくしゅうできた。
		できた (10点)		じぶんのちからで 1しゅうかんに3日ぐらいがくしゅうできた。
		あまりできなかった (5点)		がくしゅうできない日 がおおかった。
4	いじめ すどっぷ	よくできた (20点)	20	だれかをいじめたりせず、クラスのなかまと たすけあってすごすことができた。( SNS等も含む)
		できた (10点)		だれかをいじめたりせず、すごすことができた。( SNS等も含む)
		あまりできなかった (5点)		だれかをいじめてしまったことがあった。( SNS等も含む)
5	もくもくせいそう	よくできた (20点)	0	10ぶんより おおく もくもくせいそうが できた。
		できた (10点)		じかんのはんぶん (5ぶん) ぐらいできた。
		あまりできなかった (5点)		あまり できなかった。

がっこう せいかつ ふりかえりシート がんばってポイントをゲットしよう！！

さいろのところだけえらんでね

あかは さわらないでね

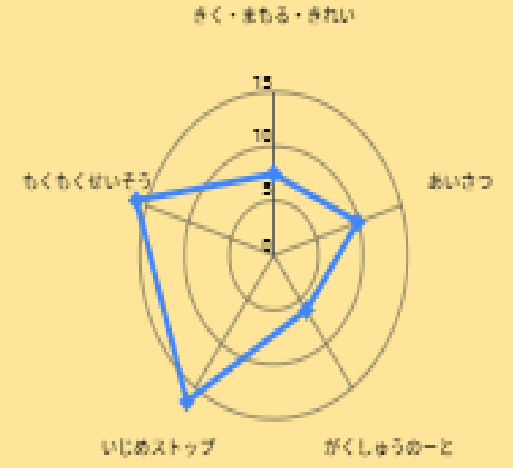
ねん

くみ なまえ

毎月の点



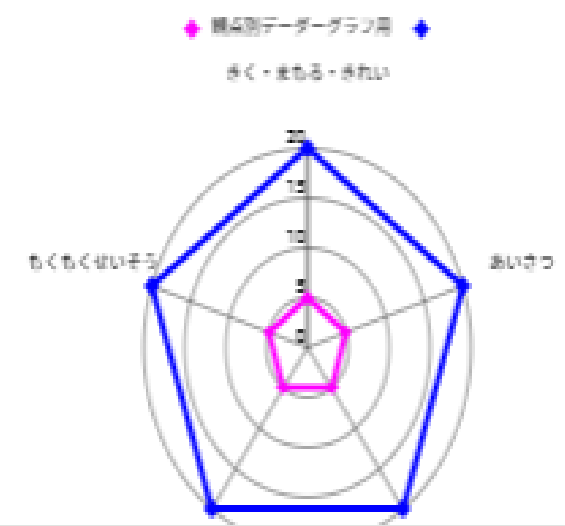
観点別平均データ



4日

項目	3つのルール	じぶんだけ えらんでね	てんすう	えらぶ りゆう	こんげつのふりかえりやがんばり	らいげつの じぶんにかかって
1	①あて はなしを さく	よくできた (20点)	5マ	3つ ぜんぶ まもること ができた		
	②じかん を まもる	できた (10点)		3つのうち 1つか2つ まもることができた		
	③まわりを きれいにする	できなかった (5点)		3つとも まもることが できなかった。		
2	あいさつ	よくできた (20点)	5マ	どこでも じぶんから すずんで あいさつすることができた		
		できた (10点)		じぶんからあいさつすることができなかったけれども、あいさつしてくれたひとに、あいさつをかえしたり、おじぎをすることができた。		
		できなかった (5点)		あいさつしたひとに、あいさつをかえしたり、おじぎをしたることができる。		
3	じしゅがくしゅうのーと	よくできた (20点)	5マ	じぶんのちからで 1ページよりがくしゅうしたひが おおい。		
		できた (10点)		じぶんのちからで 1ページおおくがくしゅうしたひがおおかった。		
		できなかった (5点)		がくしゅうできない日 がおおかった。		
4	いじめ すどっぷ	よくできた (20点)	5マ	だれかをたたいたり、わるぐちをいったり、なかまはずれにしたりせず、クラスのなかまと たすけあって してすごすことができた。		
		できた (10点)		だれかをたたいたり、わるぐちをいったり、なかまはずれにしたりせず、クラスのなかまと すごすことができた。		
		できなかった (5点)		だれかをたたいたり、わるぐちをいったり、なかまはずれにしたりした。		

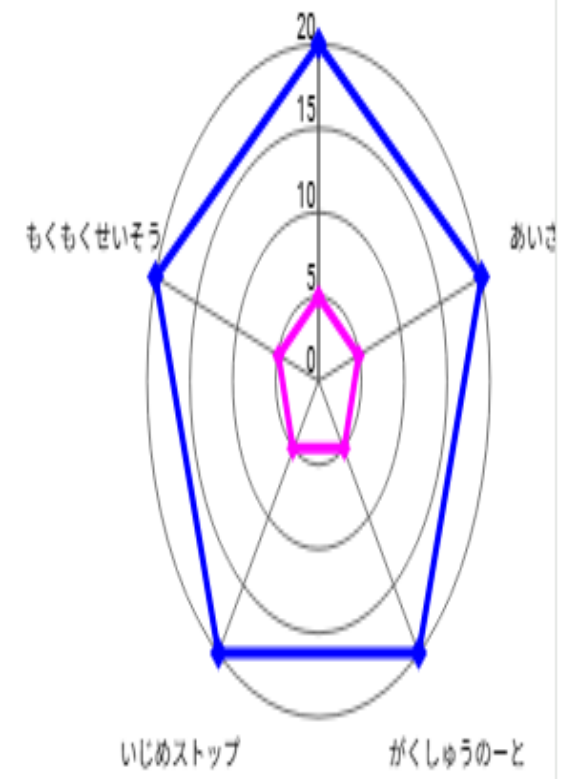
4月5月の観点別データ



4月									
項目	3つのルール	じぶんで えらんでね	てんすう	えらぶ りゆう	こんげつのふりかえりやがんばり	らいげつの じぶんにむかって			
1	①みて はなしを きく	よくできた (20点)	5 ▼	3つ ぜんぶ まもること ができた					
	②じかん を まもる	できた (10点)		3つのうち 1つか2つ まもることができた					
	③まわりを きれいにする	できなかった (5点)		3つとも まもることが できなかった。					
2	あいさつ	よくできた (20点)	5 ▼	どこでも じぶんから すすんで あいさつすることができた					
		できた (10点)		じぶんからあいさつすることができなかったけれども、あいさつしてくれたひとに、あいさつをかえしたり、おじぎすることができた。					
		できなかった (5点)		あいさつしたひとに、あいさつをかえしたり、おじぎをしたりすることができた。					
3	じしゅがくしゅうのーと	よくできた (20点)	5 ▼	じぶんのちからで 1ページよりがくしゅうしたひが おおい。					
		できた (10点)		じぶんのちからで 1ページおおくがくしゅうしたひがおおかった。					
		できなかった (5点)		がくしゅうできない日 がおおかった。					
4	いじめ ずとっぶ	よくできた (20点)	5 ▼	だれかをたたいたり、わるぐちをいったり、なかまはずれにしたりせず、クラスのなかまと たすけあって してすごすことができた。					
		できた (10点)		だれかをたたいたり、わるぐちをいったり、なかまはずれにしたりせず、クラスのなかまと すごすことができた。					
		できなかった (5点)		だれかをたたいたり、わるぐちをいったり、なかまはずれにしたりしたことがあった。					
5	もくもくせいそう	よくできた (20点)	5 ▼	10ぶん もくもくせいそう できた。					
		できた (10点)		じかんのはんぶん (5ぶん) ぐらいできた。					
		できなかった (5点)		ほとんど できなかった。					
ごうけい			25						

### 4月5月の観点別データ

◆ ピンク4月 青5月 ◆  
 きく・まもる・きれい



ありのままの子供達の姿をとどけたい。通知したい。日々の成長を共有したい。



# 試行期間を終えての児童 からのアンケート結果

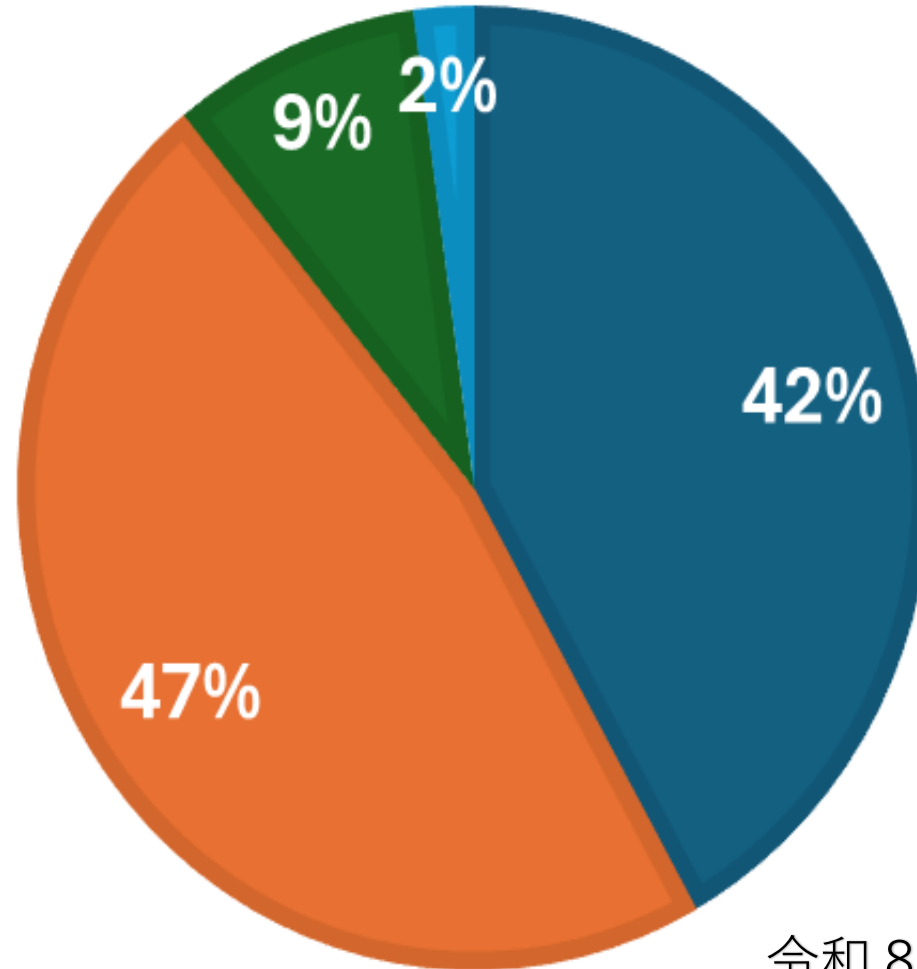
がじゅまる（デジタル）通知表試行期間

R7. 10月～R8. 3月

## アンケートの結果①

がじゅまる（デジタル）通知表で自分の成長に気づくことができたか？

■ とても思う ■ 思う ■ あまり思わない ■ 思わない

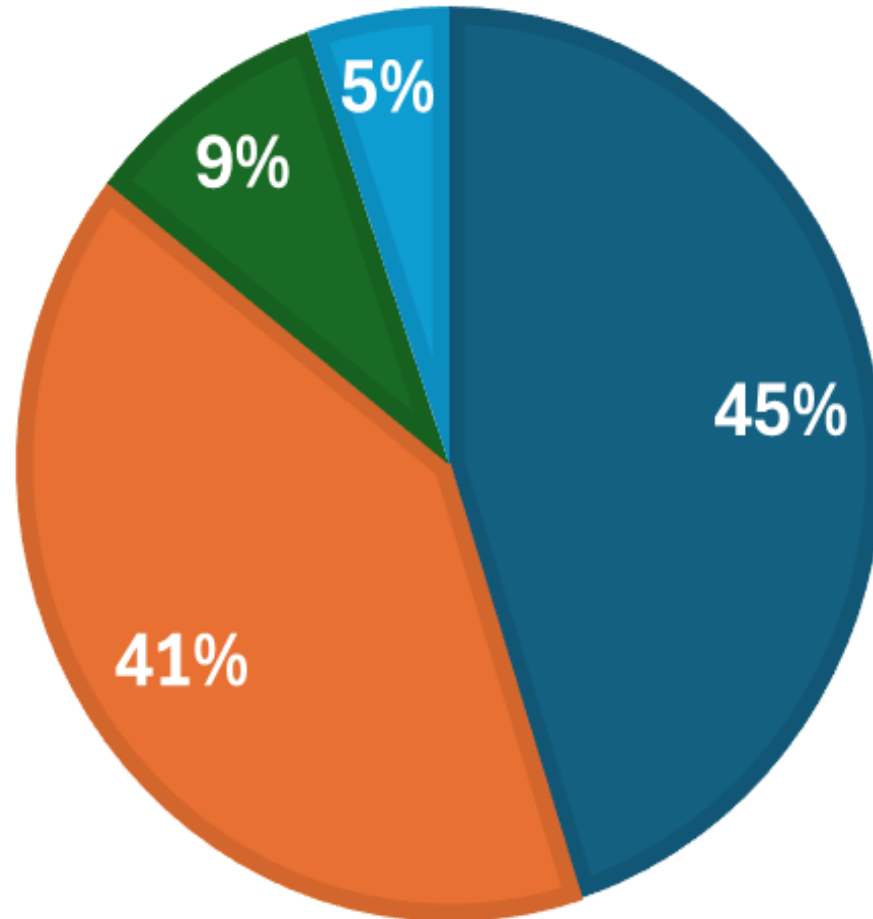


令和8年 3月 280人

## アンケートの結果②

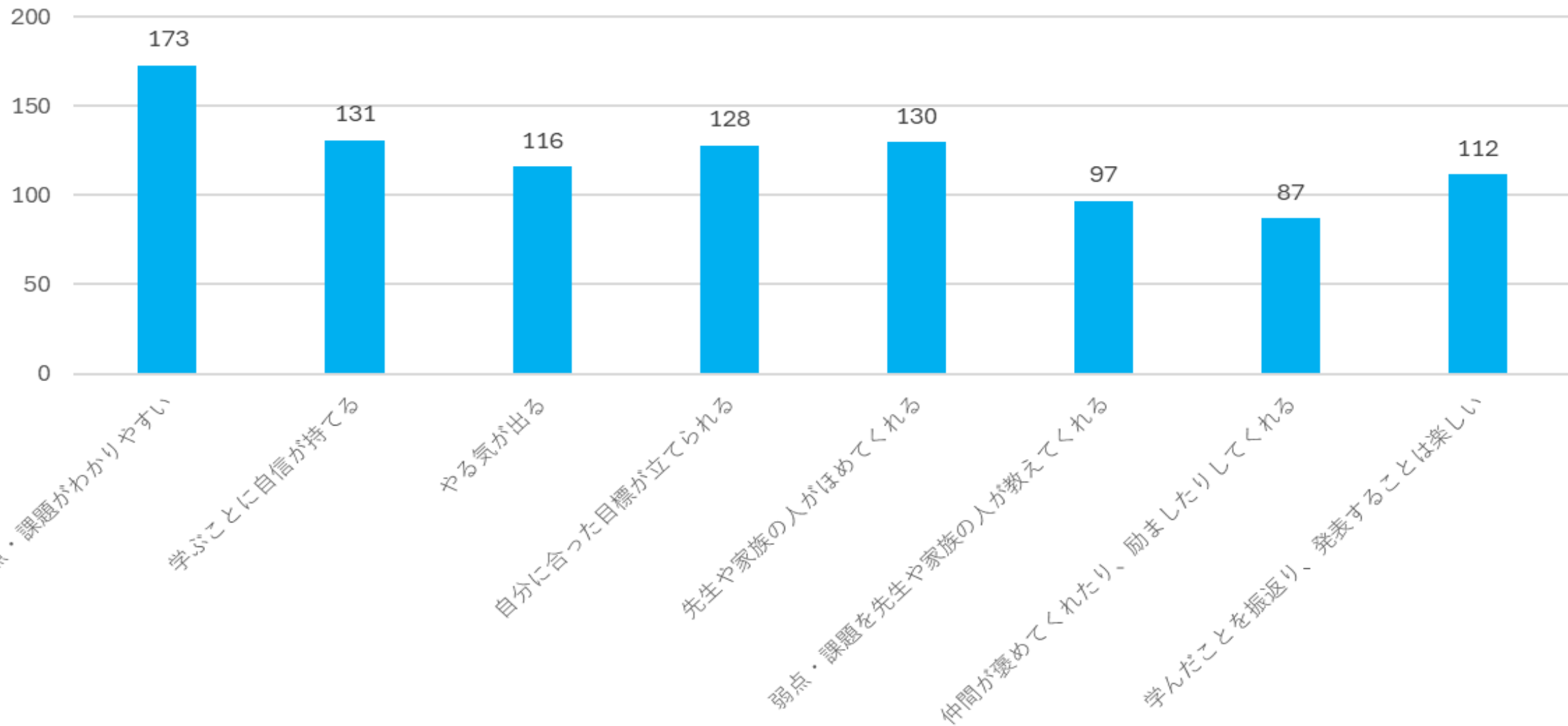
がじゅまる（デジタル）通知表で振り返りを行うことは、  
これからも大切・必要だと思うか？

■ とても思う ■ 思う ■ あまり思わない ■ 思わない



# アンケートの結果③

## がじゅまる通知表を使うよさ（複数選択）



子供のよさや可能性を引き出す  
三者ミーティング マニュアル

# 座安小フィードバック マニュアル

※個人の目標達成や自己成長をサポートするためのコミュニケーションスキル

※「自分で考え（答えを見つけ）、自分で行動できる」子どもの育成

※答えは「子どもの中にある」小さいことでも確実にフィードバック



三者M一回目	1	導入	<p>①最近、調子はどうかな？ ○○がんばっているね。</p> <p>②最近、元気だね。なにかいいことあったかな？</p> <p>③これから、前期の○○さんの目標について話し合いたいけどいいかな？</p>
	2	目標設定	<p>④学校生活ルーブリックの振り返りをみて、これまで自分が一番がんばれたことは何だと思う？</p> <p>⑤なぜ、がんばることができたと思う？なぜ、できるようになったと思う？（成功のなぜをできるだけ引き出す）</p> <p>⑥「なるほど」</p> <p>⑦〇月は「<input type="text"/>」が学校の目標だけど、あなたは今どこまでできていると思う？</p> <p>⑧〇月の目標はどれにしたい？</p>
	3	解決策・実効策の決定	<p>⑨目標を達成するために大切なもの、必要なものは何だろう？</p> <p>⑩目標を達成するために○○をがんばってみようね。</p>
三者M二回目	4	承認と成果の確認	<p>⑪目標を達成できたと思う？</p> <p>⑫できた「目標を達成できたことでどんな気持ちかな？」 「それはうれしいね。よかったね」 「なぜ 目標を達成することができたと思う？なぜ、できるようになったと思う？（成功のなぜをできるだけ引き出す）」 「なるほど」</p> <p>⑬できなかった「達成できなかったいちばんの理由はなんだろう」</p> <p>⑭できなかった「次にできるようにするためには、なにが必要かな？」</p> <p>⑮「なぜやらなかった？」「どうしてやらない？」等責め口調はNG。</p>
	漢字の学び直し学習について		<p>①今年、座安タイムで漢字の学習に取り組んでいるところだけど、（<input type="text"/>）年生の漢字の学習をやってみて、漢字を読んだり、書いたりすることができたと思う？ （できた）・・・◇漢字を読んだり、書いたりすることができたとき、どんな気持ちになる？ ◇読んだり書いたりすることができた理由はなんだと思う？ ◇なるほど ◇夏休みは、これまでのテストを振り返って、読めなかった漢字、書けなかった漢字をもう一度練習してみてください（夏休み自学自習計画紹介）。</p> <p>（できなかった）・・・◇読んだり書いたりすることができなかった理由はなんだと思う？ ◇「次にできるようにするためには、なにが必要かな？」 ◇なるほど ◇夏休みは、これまでのテストを振り返って、読めなかった漢字、書けなかった漢字をもう一度練習してみてください（夏休み自学自習計画紹介）。</p>